

短期保険証の留め置きと子ども  
の無保険状態の問題について



久松 猛 議員

**質問** 国保税の滞納者に対し、保険証を郵送せずに納税相談に来た時に渡すという、いわゆる保険証の留め置きであるが、本市ではその無保険状態の世帯の中に、中学生以下の子ども97人が含まれていた。子どもには漏れなく保険証を交付するべきと考えるが、見解を伺う。

**保健福祉部長** 本市では滞納者に対し、納税相談を実施しながら短期保険証を交付している。10月末現在、納税相談に応じない方は1521人であったが、新型インフルエンザの感染拡大や国民健康保険法の改正から、中学生以下の子ども97人に対して11月中旬に短期保険証を交付している。今後子どもも無保険状態がないよう措置していく考えである。また、滞納者には多重債務など様々な問題を抱えている方もおり、法律相談等を紹

介するなど、滞納解消を図ってまいりたい。  
(掲載以外の質問事項)

- 一 新型インフルエンザ対策
- 二 雇用対策について



3人乗り自転車に対する  
取り組みについて



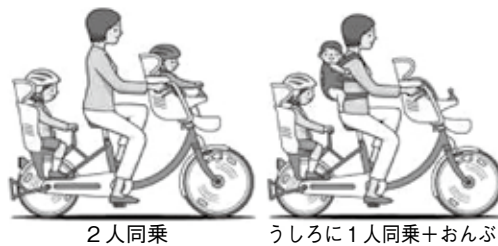
海老原一郎議員

**質問** 本年7月、幼児2人同乗用自転車、いわゆる3人乗り自転車の解禁後、県内では古河市、牛久市、阿見町などで自転車購入に対する助成制度が導入された。全国的にも多くの自治体が助成制度を導入しているが、本市の見解を伺う。

**市民生活部長** 解禁後の普及状況については、価格等の問題もあり、店頭でも路上でも見かけないのが現状である。本市としては、安全性に配慮した幼

児2人同乗用自転車の普及を推進し、自転車利用者の安全を図るとともに、子育て支援の一環として、購入した保護者に対し、その費用の一部を補助する制度を設ける方向で検討している。

○ 幼児2人同乗用自転車の使用方法



2人同乗      うしろに1人同乗+おんぶ

茨城県警察ホームページより

健康づくりについて



松本茂男 議員

**質問** NPO法人が取り組んでいる事業の中で、1カ月の歩数を合計し、1日の平均歩数によって商品券をもらい、加盟店で買い物をする

という仕組みがある。それが健康につながり、やはり医療費の抑制にもつながっていくと思われるが、本市でこのような事業に取り組む考えはあるか伺う。

**市長** 現在策定中の「健康つちうら21計画」の中で、誰

でも安全に歩けることを目指したヘルスロードを取り入れ、身近な所でのウォーキングも推奨していきたいと考えている。議員ご提案のNPO法人の利点を活かした歩数のマイレージ事業は、健康づくりの動機付けとして効果を上げていけると考えられる。市として出来る方法で工夫検討したい。

- (掲載以外の質問事項)
- 一 平成22年度予算について
  - 二 自民党から民主党への政権交代による本市への影響について



常名総合運動公園新年  
度方針について



竹内 裕 議員

**質問** 常名総合運動公園については、平成3年に都市計画決定し、平成4年から用地買収に入っている。一部未同意者の同意を取り付けるために何年も経過しているが、新年の方針として、計画の見直し検討委員会の設置など、その考え方を伺う。

**副市長** 当初計画から約19年が経過し、その間の社会情勢の変化や新治村との合併によってきていることから、平成22年度において、外部委員会からなる見直し検討委員会を組織したいと考えているが、まずは未同意者の同意の取り付けに最大限努力し、基本計画の見直しに入りたいと考えている。  
(掲載以外の質問事項)  
一 2010年国勢調査の対策について